

協会に事務局を置く団体

神奈川県消化器がん検診機関一次検診連絡協議会	
設立年月日	昭和57（1982）年 2 月
代 表	会長：細川 治 (国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院 院長)
会 員 数	会員機関11＋相談機関 2 （2020年 7 月現在）
設立の主旨	
県内における老人保健法（昭和57・1982年度～平成19・2107年度）および健康増進法（平成20・2008年度～）に基づく消化器がんの住民検診を行う一次検診実施機関の精度管理の向上、行政、学会、医師会をはじめとする関係機関との連携協調を図り、共通の諸問題の研究、技術の向上を目指して討議を行い、消化器がん検診の充実、発展を図る	
本年度の主な活動	
1. 協議会の開催 (1)第87回協議会 2019年 7 月25日(木) 2. 幹事会の開催 (1)第105回幹事会 2019年 7 月 8 日(月) 3. 研修会 日時：2020年 1 月25日(土) 演題：「胃 X 線検査の守・破・離～撮影虎の巻と読影の虎の巻」 講師：公益財団法人佐賀県健康づくり財団 中原慶太先生 4. 技術部会 (1)第 1 回 2019年 5 月 8 日(水) (2)第 2 回 2019年 8 月21日(水) (3)第 3 回 2019年11月13日(水)	
事務局担当	新保文樹（業務部）

神奈川県健康管理機関協議会	
設立年月日	昭和56年（1981）年
代 表	代表幹事：（公財）神奈川県予防医学協会
会 員 数	14機関（2020年 3 月31日現在）
設立の主旨	
県内において企業等の健康管理支援業務を行う企業外健康管理機関が、より質の高いサービスを提供するため、健康管理全般に関する支援として、精度の向上、適正な事業の運営等、共通の諸問題を協議検討すると共に労働衛生行政へも積極的に協力していくことを目的として設立	
本年度の主な活動	
◆第 1 回協議会（2019年 8 月27日） 1. 神奈川県労働局からの連絡事項 2. 神奈川県産業保健総合支援センターからの連絡事項 3. 講演 テーマ：「第三期特定検診・特定保健指導で健診施設に期待すること」 講 師：健康保険組合連合会 岩崎由美子主幹 4. 情報交換会 ・風しん抗体検査（クーポン使用）の対応状況 ・採血トラブル防止対策 ◆第 2 回協議会 2020年 3 月 9 日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止	
事務局担当	雨宮 徹（業務部）

（公社）日本作業環境測定協会神奈川支部	
設立年月日	昭和56（1981）年 7 月
代 表	支部長：灰塚正隆
会 員 数	27機関（2020年 3 月現在）
設立の主旨	
作業環境測定士の資質向上と測定技術の精度向上、測定機関の業務改善などを目的として設立	
本年度の主な活動	
◆会議 ①総会 1 回 ②理事会 2 回 ③技術専門委員会 6 回 ④機関全体集会 1 回 ◆第一回技術研修会（2019.6.11） 令和元年度の労働衛生行政の動向 （神奈川県労働局 安部昭彦氏） ◆作業環境測定評価推進大会（2019.9.27） ①最近の労働衛生行政の動向 （神奈川県労働局 塚田啓子氏） ②最新のリスクアセスメント手法について （中央労働災害防止協会 山室堅治氏） ③有機溶剤の健康障害について （クボタ 加部 勇氏） ◆第二回技術研修会（2020.2.3） ①たばこ煙の健康障害と分煙対策 （神奈川県予防医学協会 芦田敏文氏） ②作業環境測定実施事業場における環境改善事例 （オオスミ、相新、山梨厚生会） ③測定機器メーカーによるプレゼンテーション （スリーエム、柴田科学、アイデック、光明理化学）	
事務局担当	芦田敏文（環境科学部専門委員）

神奈川県学校・腎疾患管理研究会	
設立年月日	昭和50（1975）年
代 表	会長：新村文男先生 （東海大学小児科 准教授）
会 員 数	約90人（2019年 4 月現在）
設立の主旨	
各地区医師会・自治体・大学医学部・病院・学校・検診機関が相互に連携し腎疾患対策を行い児童・生徒の健康に寄与すべく事業を展開	
本年度の主な活動	
◆学校現場との連携事業 未実施 ◆神奈川県学校検尿判定委員会合同会議 中止 ◆医師部会 神奈川中小企業センター 2019年 9 月28日 「留意すべき小児の慢性腎疾患と早期発見のための正確な腎機能評価」 北里大学 小児科 主任教授 石倉健司先生 ◆定例研究会 中止 ◆機関誌 2019年度事業中止により未発行	
事務局担当	佐藤光宣（業務部業務 1 課）

子宮がん車検診実施検討会	
設立年月日	昭和46（1971）年
代 表	世話人：上坊敏子先生 （社会保険相模野病院婦人科腫瘍センター長）
会 員 数	構成医療機関等 ○協力医療機関 北里大学・東海大学・横浜市立大学・聖マリアンナ医科大学・日本医科大学の産婦人科 ○神奈川県立がんセンターの婦人科腫瘍専門医 ○協会細胞診専門医
設立の主旨	
子宮がん死亡率低下のため県が実施の検診事業に協会が協力。昭和58（1983）年老人保健法施行により実施主体が市町村へ移行された。協会は、国・県・市町村および学会・医師会との連携を持ち検査精度の向上・受診率の向上等を目的として検討会を継承し、運営をしている。	
本年度の主な活動	
◆年1回検診・報告会を開催 2019年9月18日（水） ◆検診・報告内容 車検診の集積データを検証し、発見症例の再検討などを実施して、精度の維持向上に役立てている。また、実務的な情報交換を行う	
事務局担当	佐藤光宣（業務部業務1課）

神奈川県乳がん集団検診協力医療機関連絡会	
設立年月日	昭和60（1985）年
代 表	会長：福田 譲（聖マリ大 B&Iセンター院長）
会 員 数	○乳がん検診（視触診・読影）協力医療機関 視・触診協力機関 21機関 読影協力機関 12機関 横浜市立大学附属病院・昭和大学藤が丘病院・横浜南共済病院・聖マリアンナ医科大学病院・藤沢市民病院・藤沢湘南台病院・茅ヶ崎市立病院・平塚共済病院・小田原市立病院・山近記念総合病院・秦野赤十字病院・東海大学病院・伊勢原協同病院・平塚市民病院・海老名総合病院・相模台病院・湘南記念病院・東名厚木病院・川崎市立井田病院・横浜市南部病院・北里大学病院・神奈川県立足柄上病院・国立病院機構相模原病院・国際医療福祉大学熱海病院・大和市立病院・相模野病院・プレスティアたまプラーザ・神奈川県立がんセンター・聖マリアンナ医科大学附属研究所B&Iセンター（2019年7月現在）
設立の主旨	
乳がん死亡率低下のため県が実施の検診事業に協会が協力。老人保健法施行により実施主体が市町村へ移行された。協会は、国・県・市町村および学会・医師会との連携を持ち検査精度の向上・受診率の向上等を目的として神奈川県乳がん集団検診協議会を継承し、運営をしている。MMG運営委員会：上記連絡会の下部組織として、マンモグラフィ読影精度管理を目的として設立。	
本年度の主な活動	
1.連絡会・MMG運営委員会 合同開催（3月6日中止） 2.症例検討会 第1回：7月19日 9機関12名 第2回：11月22日 7機関8名 3.学会発表 第29回日本乳癌検診学会（11月8・9日 福井市） 平塚共済病院 谷 和行先生	
事務局担当	山本寛典（業務部業務1課）

ピンクリボンかながわ	
設立年月日	平成18（2006）年4月
代 表	代表：土井卓子（湘南記念病院 乳がんセンター長）
会 員 数	97人（2019年7月現在）
設立の主旨	
乳がんの早期発見・早期治療をめざして、乳がん検診の受診率向上と乳がんについての知識の普及・啓発を目的として設立	
本年度の主な活動	
◆県内での活動 市町村や企業等のイベントや講習会、研究会へ延べ28団体43日間協力参加。マンモグラフィ検診車の展示やピンクリボンブースで乳房模型を使い、しこりの触診体験や自己触診方法の説明。また、小規模の催しには乳房模型の貸出や自己触診方法が載ったリーフレットの提供による活動支援も行っている。 ◆「ピンクリボンかながわ2019」開催 9/20（金）神奈川県庁本庁舎でライトアップセレモニー実施。同時期によこはまコスモワールド中央広場でも初めてのライトアップセレモニー実施。9/22（日）横浜公園、日本大通り中心にピンクリボンイベント。9/20（金）～9/23（月・祝）ピンクにライトアップ6ヶ所で実施。ピンクリボン運動を広く県民、市民に発信しました。 ◆「ピンクリボンかながわin鎌倉2019」開催 5年目の開催となる鎌倉市との共催。11/2（土）鎌倉女子大学での啓発イベントや大船観音のライトアップを行い、ピンクリボンのメッセージをお伝えしました。	
事務局担当	野口正枝（検診計画部）

神奈川乳房画像研究会／神奈川乳房超音波画像研究会	
設立年月日	平成10（1998）年12月／平成18（2006）年3月
代 表	世話人代表 加藤善廣
会 員 数	26人（2020年8月現在）
設立の主旨	
乳がんの早期発見・治療の為、画像診断や装置の精度向上に役立つ情報提供や普及活動	
本年度の主な活動	
◆世話人会 5回開催 当協会7階・役員室にて 2019年4月16日・7月4日・9月3日・11月14日 2020年1月23日 ◆研究会 2回開催 ・第60回画像研究会・37回超音波画像研究会 2019年5月18日（土）参加者 71名 会場：川崎市立多摩病院 主要講義「乳腺疾患の組織型分類について —新乳癌取り扱い規約とWHO分類—」 亀田京橋クリニック 黒住昌史先生 ・第61回画像研究会・38回超音波画像研究会 2019年10月26日（土）参加者 48名 会場：横浜市開港記念会館 主要講義「新しい乳癌治療と遺伝」 湘南記念病院乳がんセンター 土井卓子先生 ◆他活動内容 ・横浜市医師会主催 ポジショニング研修会 ・超音波画像研究会主催 ハンズオンセミナー ・神奈川県医師会主催 MMG撮影技術講習会	
事務局担当	見本喜久子・関春花（放射線技術部）

禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議	
設立年月日	平成11（1999）年11月5日
代 表	会長：長谷 章
会 員 数	個人会員149人、法人会員11法人 （2020年5月現在）
設立の主旨	
県内の禁煙・受動喫煙防止の普及啓発活動の目的で設立	
本年度の主な活動	
◆総会・講演会 6月 県総合医療会館 ◆常任理事会 2回、理事会 2回 ◆会員による講演会、セミナー 102回 対象者11,424人 ◆かながわ卒煙塾、かながわ卒煙サポートセミナーへの協力 講師派遣 4回 ◆イベントへの参加 1回 ◆関連会議への協力 神奈川県1回、横浜市3回の会議へ参加 （神奈川県は意見書提出） ◆ホームページをリニューアル ◆創立20周年記念式典開催（11月17日）、記念誌（ホームページにて公開）の作成	
事務局担当	栗原 博

スモークフリー推進かながわ基金	
設立年月日	平成22（2010）年
代 表	委員長：笹生正人（県医師会理事）
会 員 数	委員6人（委員長含む、2020年8月現在）
設立の主旨	
受動喫煙防止を浸透させ、自らの意思で受動喫煙を避けることができる環境の整備を促進するため、県民、法人等からの寄付金を原資として設立	
本年度の主な活動	
◆「イベント・シンポジウム開催」事業 (1)受動喫煙防止県民向けイベントへの協力 11月9日 キーンズスクエア (2)受動喫煙防止キャンペーンへの協力 5月28日～6月3日 横浜公園 ◆「広報普及啓発」事業 (1)ホームページを活用した普及啓発 (2)啓発グッズ作成 ◆「未成年者等喫煙防止教育」事業 (1)受動喫煙防止県向けイベントへの協力 （再掲） ◆「スモークフリー・サポーターズ・クラブ」事業 (1)スモークフリー・サポーターズ・クラブの運営・管理	
事務局担当	栗原 博

神奈川学校保健研究会	
設立年月日	昭和43（1968）年9月
代 表	会長：鈴木晴美
会 員 数	35人（2020年3月現在）
設立の主旨	
県内の養護教諭ら、学校保健関係者が自主的に研修する場として設立	
本年度の主な活動	
◆月例会6回（招待講師による講演） 当協会3階・健康測定室にて 2019年6月29日、7月27日、10月26日、12月14日 2020年1月25日、2月8日 延べ76人参加 ◆第51回夏期講習会 テーマ「これからの一歩も成長するこどもたちのからだ・こころにより添って」 横浜港運健保組合 大会議室にて 2019年8月1日・2日の2日間、4講師による講演。 延べ168人参加	
事務局担当	船崎隆文（健康創造室企画課）